

# 在宅における医療と介護の絆を考える

## —訪問リハビリテーションの立場から—

全国訪問リハビリテーション研究会

会 長 伊藤隆夫

(船橋市立リハビリテーション病院)

# 地域リハビリテーションの流れ

# 高齢者のリハビリテーション・介護予防

予防的活動

治療的活動

介護的活動

健康増進

転倒予防  
生活習慣病

急性期リハ

回復期リハ

維持期リハ

終末期リハ

老人保健事業・介護予防事業

健康増進法

医療保険

老人保健事業・介護予防事業

介護保険

医療保険

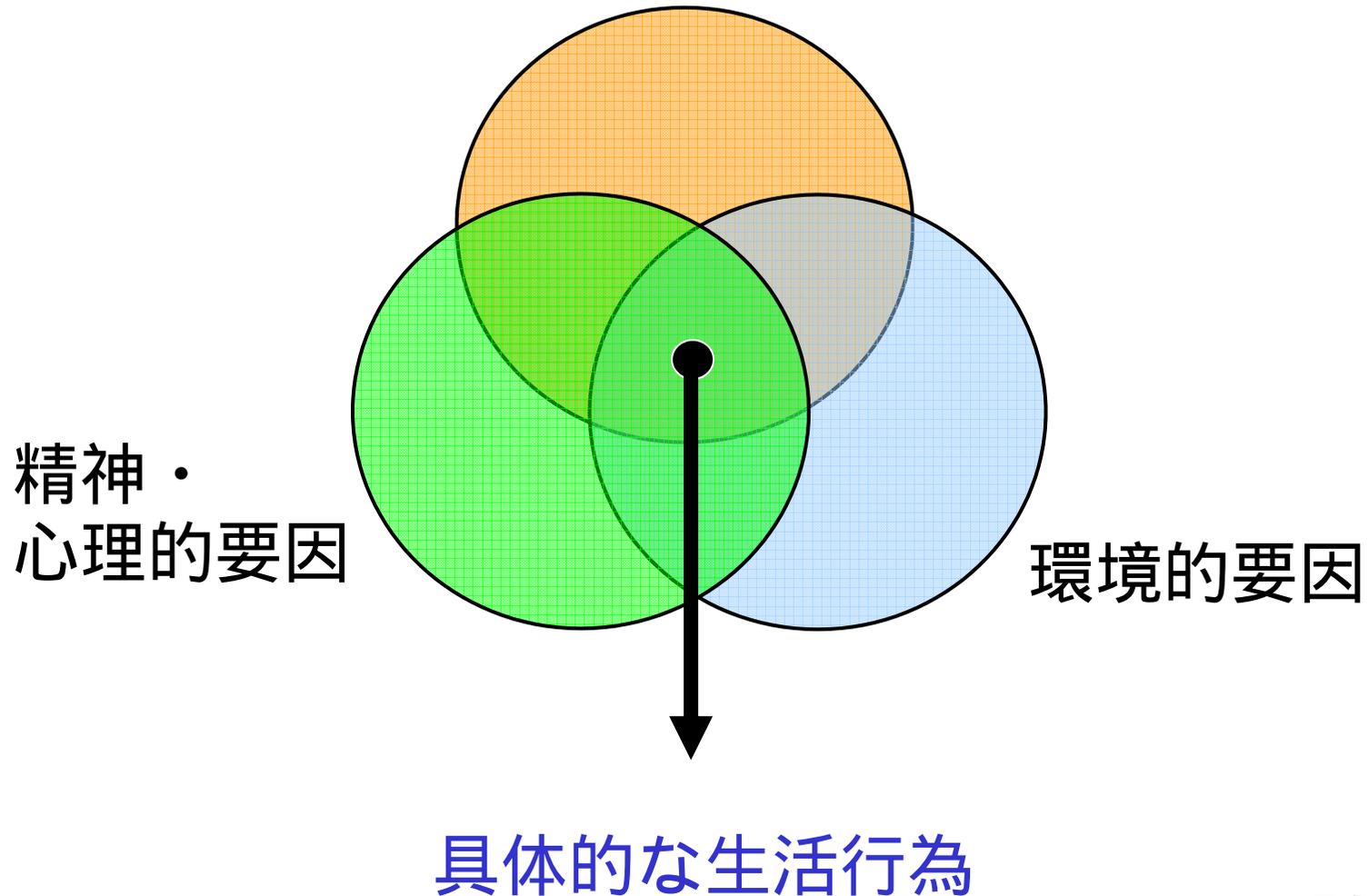
傷病の急性発症

要介護認定

スライド 3

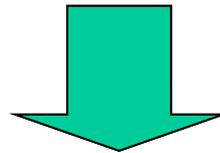
# 生活行為を規定する要因

身体機能的要因



# 訪問リハビリテーションの目的

廃用性の機能低下の防止  
身体面・精神面の活動性の向上



生活の活性化と社会性の獲得  
||  
活動と社会参加

# 訪問リハビリテーションの業務

- 1 . 心身機能の評価と機能訓練
- 2 . 日常生活活動への助言・指導・支援
- 3 . 家族・介護者への介助方法の指導
- 4 . 家屋改造の助言
- 5 . 補助器具等の利用の助言
- 6 . 通所サービス等の利用への助言
- 7 . 利用者・家族介護者への精神的支援
- 8 . 在宅支援スタッフとの協業と連携

# 訪問リハビリテーションの実際

# 移動動作能力向上へのアプローチ



屋内での椅子歩行



歩行車での屋外歩行

# IADL向上へのアプローチ



タクシーの乗降練習



炊事動作の練習

# 摂食・嚥下への支援



舌機能の評価



嚥下評価

# 自助具等の工夫でA D L自立へ



冷蔵庫の中のものを  
を取り出す練習



自助具での食事練習

# 福祉用具の効果的な利用に向けて



ベッドの高さ調整



自作歩行器 スライド11

# 住環境調整への積極的な支援



玄関の手すり



床のマーキング

スライド12

# 活動性の拡大を目指して



閉じこもりの解消

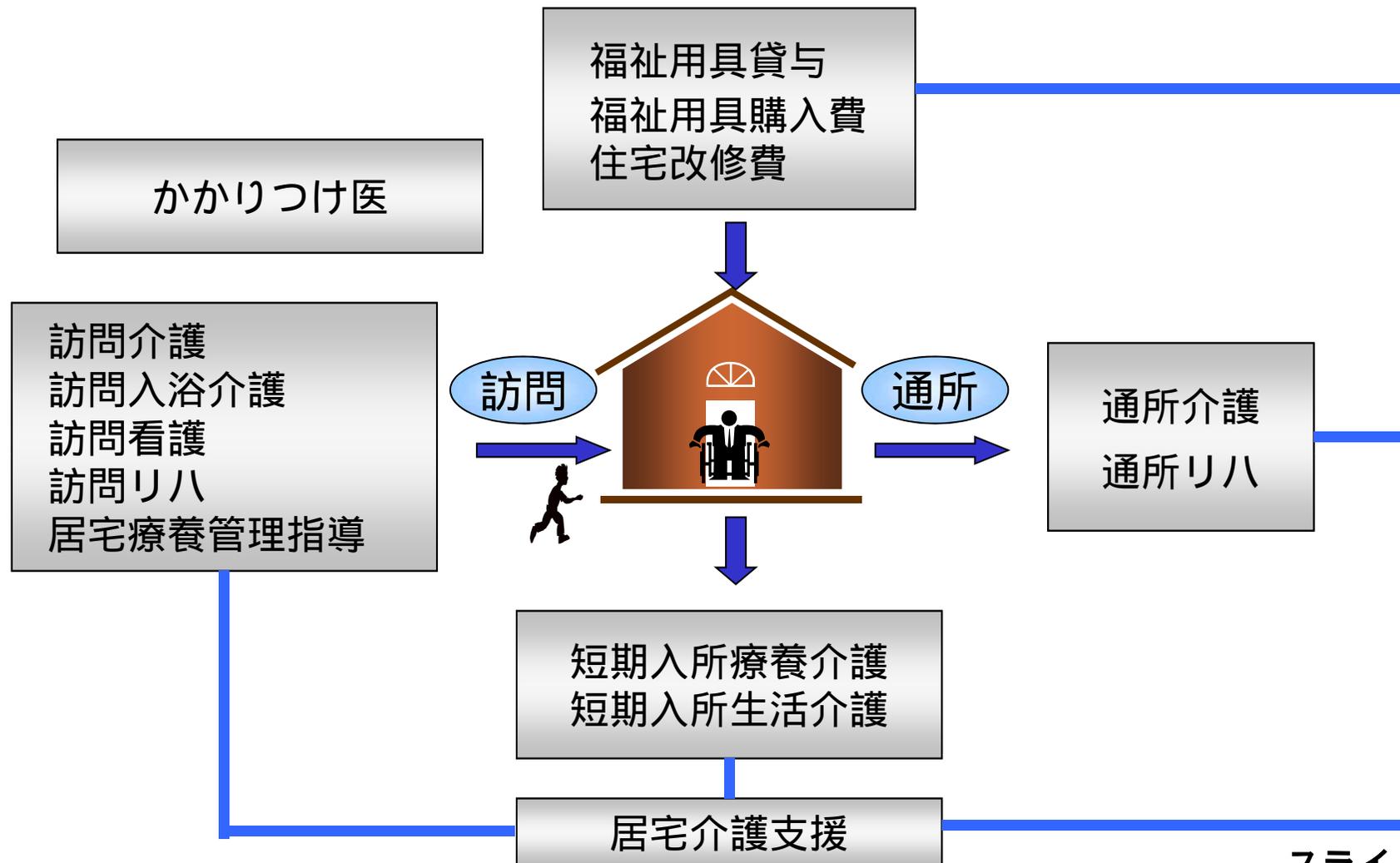


生活圏の拡大

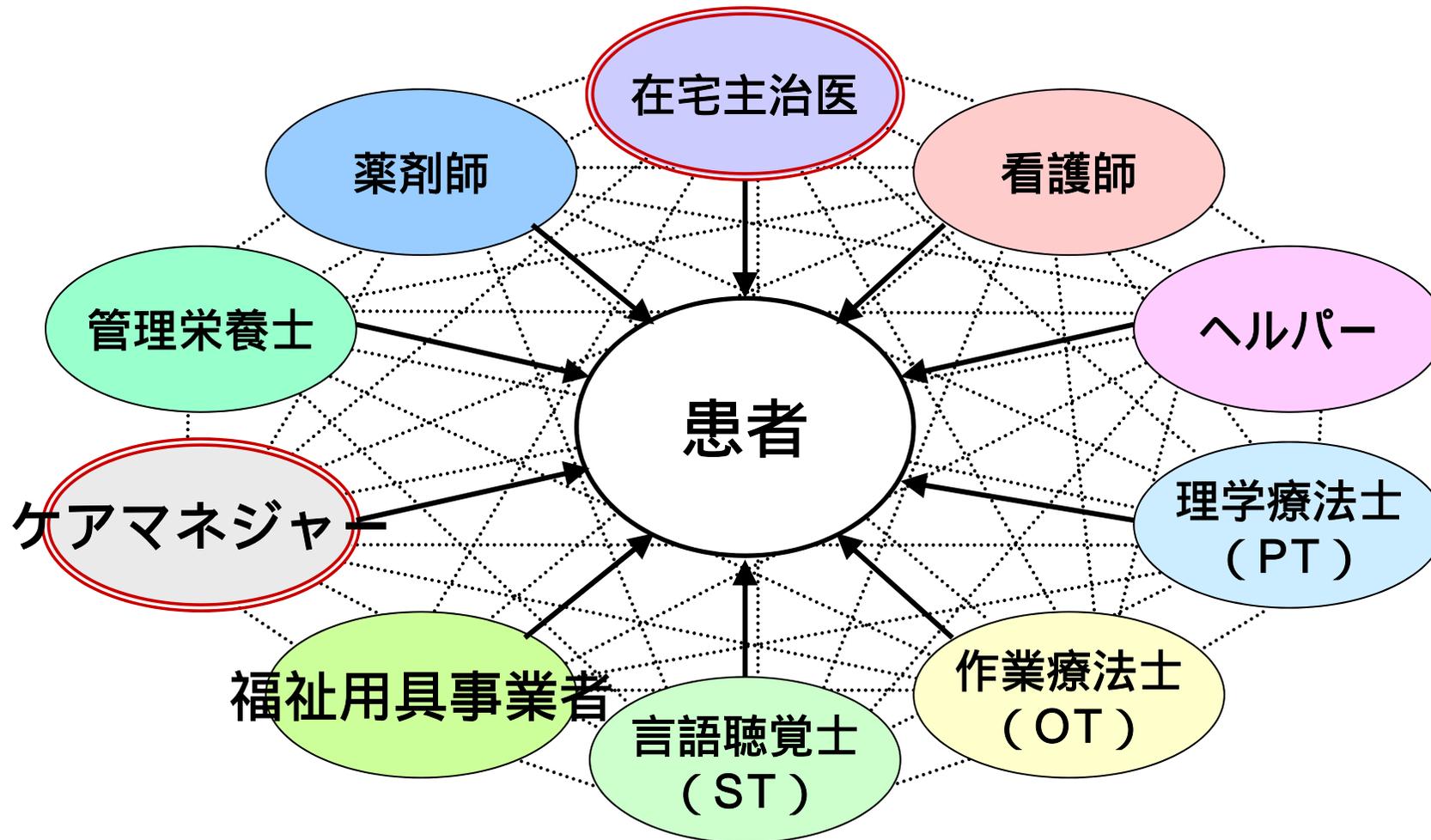
スライド13

# 医療と介護のチームワーク

# 介護保険における居宅介護サービス



# 在宅リハサービスも 多職種によるチームアプローチ



入院に比べて難易度の高いネットワークの構築

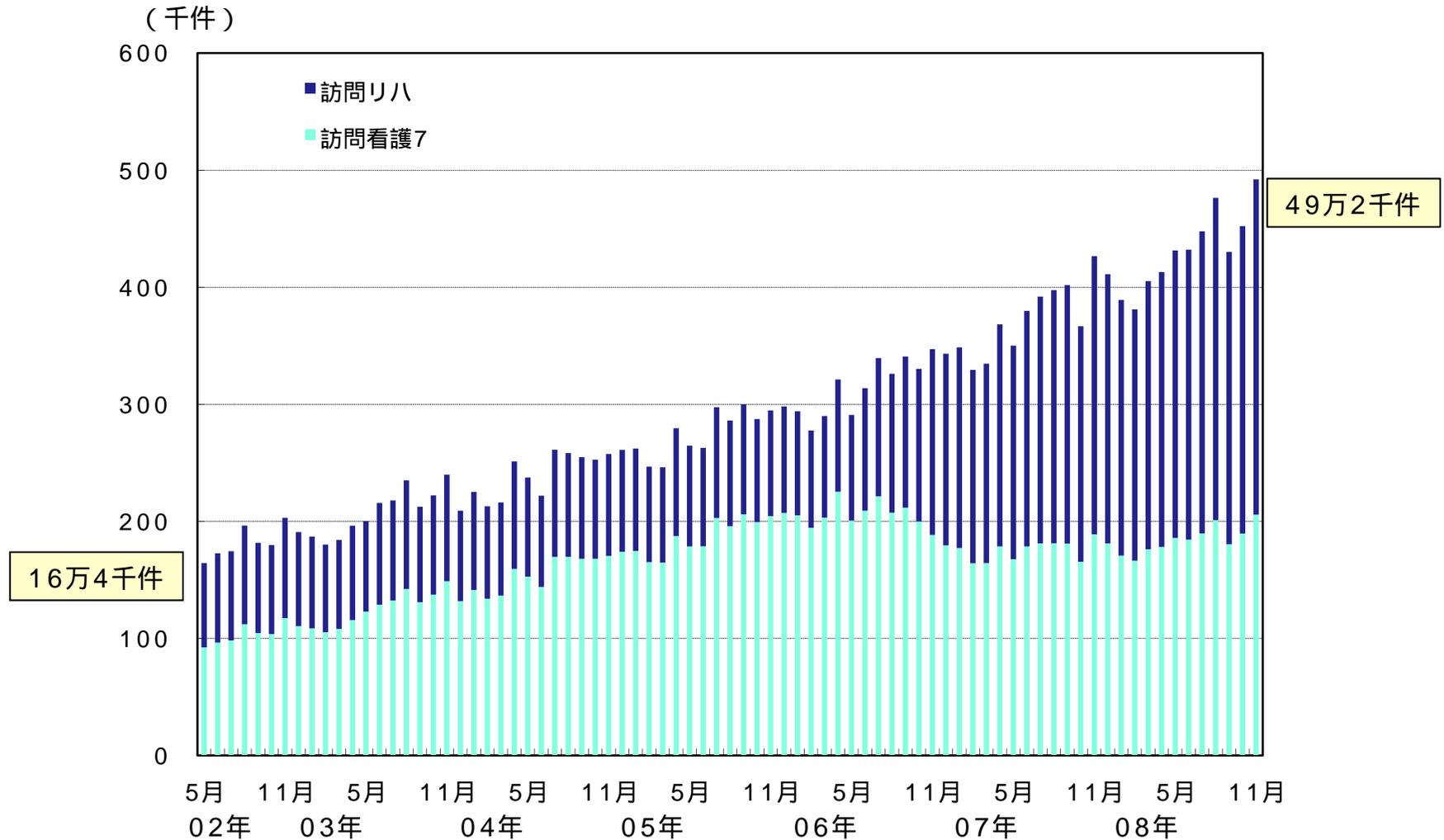
# ケアマネジャーとのチームワーク

- 1 . リハ実施計画書・報告書を必ず書く。
- 2 . ケアカンファレンスでの情報発信。
- 3 . 自立とQOLの向上の視点を強調。
- 4 . リハ計画とケアプランの整合性をとる。
- 5 . できるだけ同行訪問の機会をつくる。  
→何をやってどう変わったかを見せる。
- 6 . リハの目的をきちんと理解してもらう。
- 7 . ケアマネ事務所に気軽に寄って雑談。

## 訪問介護とのチームワーク

- 1 . 「 やれる A D L 」 の提案と技術移転。
- 2 . 自立とQ O L の向上の視点の強調。
- 3 . 介護計画にリハ的視点を導入する。
- 4 . できれば単発同行訪問でケアを共有する。
- 5 . 地域のヘルパー研修など積極的に協力。
- 6 . 開かれた訪問リハ事業所として工夫する。

# 訪問リハと訪問看護7の月次推移



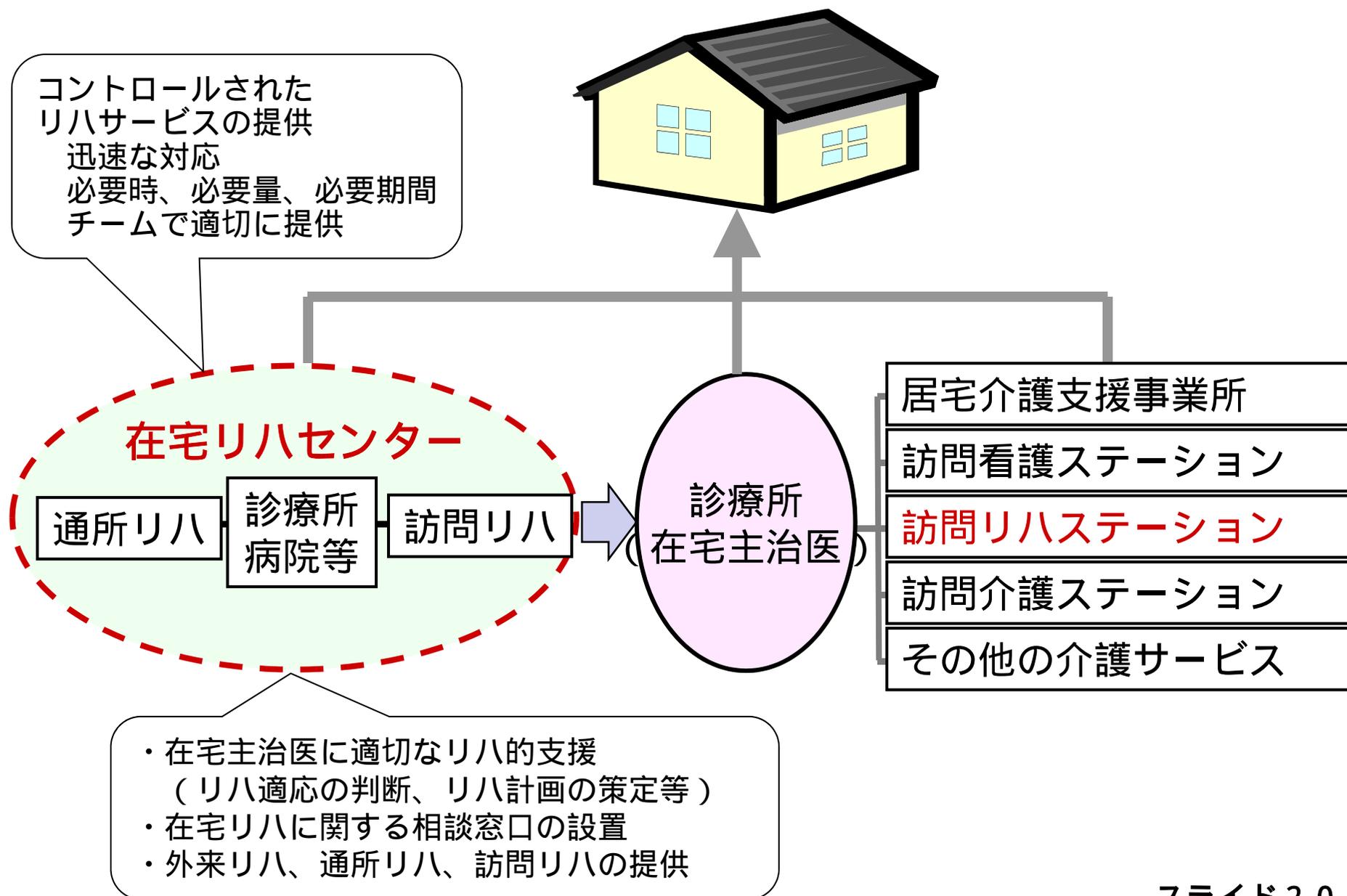
訪問看護7 + 訪問リハの実績は約7年で3倍に増加

# 在宅リハビリテーションの展開

# これからの在宅ケアサービス拠点

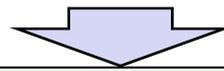
- ・リーダーシップ
- ・リハ機能の充実
- ・マンパワーと協調性
- ・医療系と福祉系サービスの併設と連携
- ・訪問系と通所系サービスの併設と連携
- ・小規模・多機能・地域密着・365日サービス  
(コンビニエンス化)

# 在宅リハビリテーションセンター構想



# 訪問リハビリテーションの課題

- 1 ) 人材育成（訪問リハ専従者の養成）
  - 教育研修体制の強化
  - 実習・研修施設の充実
- 2 ) 訪問リハのシステム整備
  - 在宅主治医による指示～報告体制の確立
  - ケアマネジャーと連携強化
  - 通所リハ・短期入所リハと連携強化
- 3 ) 訪問リハ提供拠点の整備
  - 訪問リハステーションの創設



- ・退院もしくは退所直後および生活機能低下時に適切かつ迅速に提供される訪問リハの普及。